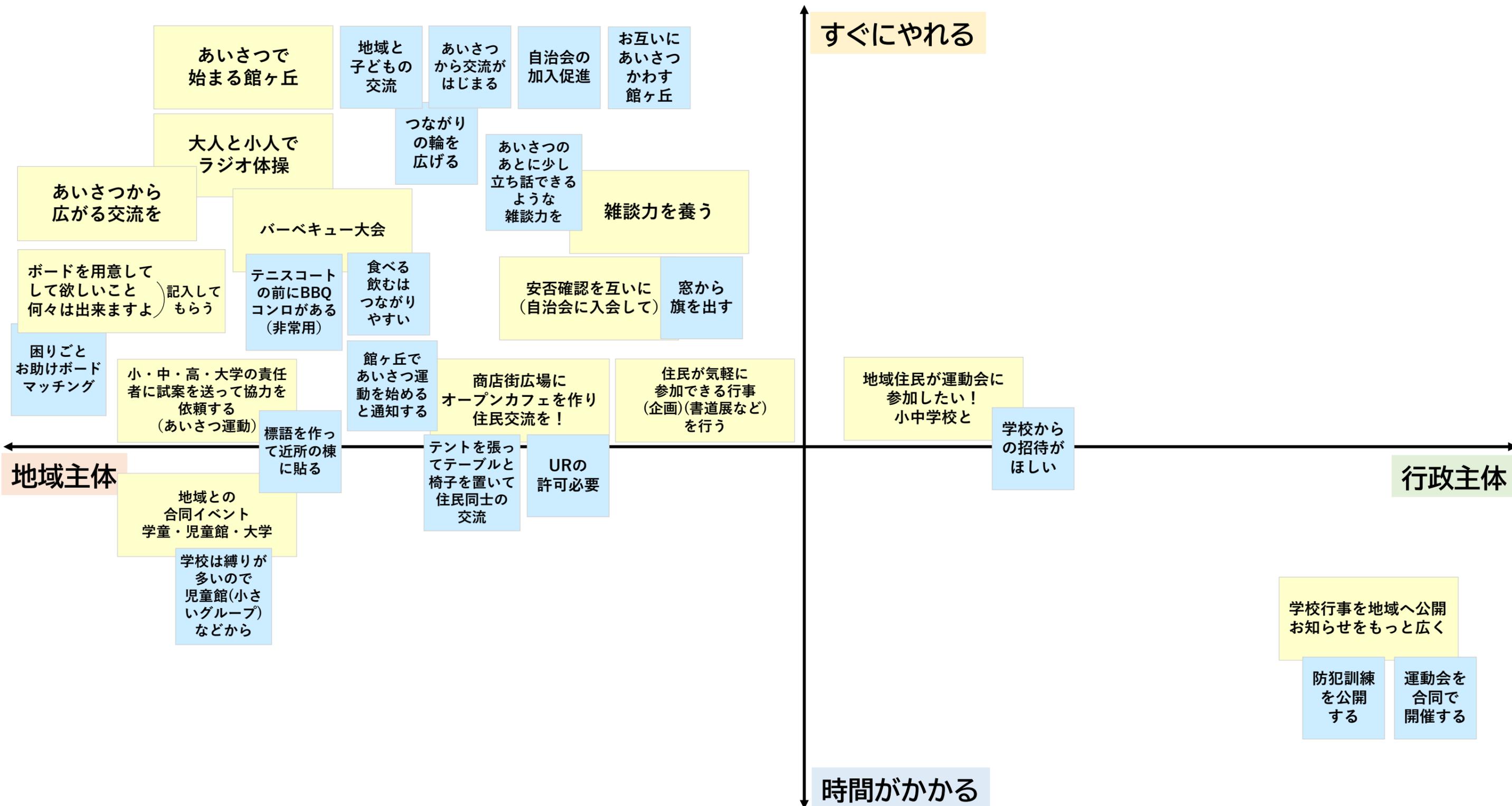


ありたい姿

あいさつで始まる館ヶ丘

想い

あいさつや雑談ができる土壌があると、防犯・安否確認・多世代交流など共助しやすい地域づくりにつながる。あいさつを起点とし、地域と学校の交流促進や自治会加入者の増加など館ヶ丘全体の関係性づくりにつなげていきたい。



高齢者の居場所

商店街の
空き店舗に
高齢者の
居場所を！

自治会への参加増

自治会が
機能
しなくなった

上館の自治会
とは合同の行事
がある

自治会・老人会
など各団体
を含めて住民が
集えるイベント
を開催したい

新規住民との交流

掲示物を見
ていない

校長先生が
変わると地域の
かわりが異なる

地域団体 同士の交流

顔見知り同士で
はあいさつする

館ヶ丘の住民は
小中学校の行事
に行きたい

点でつながって
いるが、続いて
の交流はない

大人と 子どもの 交流

大人も
子どもも
同じ体験

多世代共通の
話題作り

学校と住民が
交流する機会

館ヶ丘団地の
歴史紙しばいを
作り老若男女の
交流の
きっかけに

公園で自由に
遊べる環境

近隣小中高との
交流を図り
世代間交流を

老人会の活動
など子どもは
入りにくい
が受け入れて
ほしい

お互いに
・
たがいに

自然にあいさつ館ヶ丘 しぜん

地域の人と 児童との あいさつ

まずは
自分から
あいさつ

しぜん
あいさつできる
取り組み

標語は青少対が
管理している

あいさつをしよう①
バスの降車時(乗車時)
に一言言おう
「ありがとうございました」

笑顔
笑声

地域の人 同士で あいさつ

あいさつを
交わすことで
防犯にもなる

学校との 交流

運動会
入学式など
イベントへの
地域の人参加

卒業生がつける
コサージュは
地域の住民が
作っている

地域が交流を
望んでいる
ことを
学校は知らない